

■ 特別講義

平成20年9月20日(土) 10:30~12:00

講義題目「ナノテク・ロボット・電気自動車
-活躍する京大発ベンチャー」

副学長・VBL施設長・工学研究科教授 松重和美



〔講演内容〕

京都大学では、多くの研究者が最先端の研究に取り組んでいます。ここでは、超微細技術であるナノテクノロジーを用いた最新の科学技術の世界やフレキシブルディスプレイ(折れ曲がり可能な薄型表示装置)開発に向けた企業との共同研究の例などを紹介します。また、いろんな大学発ベンチャー、特にロボ・ガレージ代表の高橋智隆さんによる「二足歩行ロボット」開発の取り組みの話や実演、さらには環境に優しく伝統文化を取り入れた京都電気自動車(Kyoto-Car)プロジェクトを紹介します。

〔プロフィール〕

松重和美

昭和22年、福岡県生まれ。米国ケース・ウェスタン・リザーブ大学大学院修了。Ph.D. 及び工学博士。京都大学副学長、VBL施設長、工学研究科教授。専門分野は分子エレクトロニクス、ナノテクノロジー、また、ベンチャー支援、産学連携や電気自動車プロジェクトを推進。

■ 保護者等向け講演会

平成20年9月20日(土) 10:30~12:00

講演題目「思春期の子育てを考える
-男の子育て、女の子育て-」

理事・副学長・臨床心理士 東山紘久



〔講演内容〕

思春期の最大の特徴と課題は、性衝動の高まりと、男女のアイデンティティを子供がいかに関得していくかです。子どもの方が、学童期と重なって、男の子、女の子をより強く意識するようになります。それに呼応して、親の方も男の子、女の子をいかに育てるか、を考える必要に迫られます。また、男の(父親の)子育て、女の(母親の)子育てを夫婦の共同のもとでどのようにしていくかが大切になります。思春期ほど同性の親の存在が問われる時期はありません。今回は思春期の子育てを男、女、父親、母親の4軸から述べたいと思います。

〔プロフィール〕

東山紘久

昭和17年、大阪市生まれ。京都大学教育学部卒。教育学博士。臨床心理士。

京都大学理事、副学長、名誉教授。

『子育て』(共著)『夢分析』『プロカウンセラーの聞く技術』『スクールカウンセリング』『登校拒否』など多数。